

様式 13

## 会派視察研修計画書

令和 4年 1月 7日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ  
代表者名 小池友妃子

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	小池友妃子 鈴木みのり	
日時	令和 4年 1月 21日（金）～令和 年 月 日（ ）	
視察先	愛知県豊田市 若林東小学校	
研修内容	マルチメディアデイジー教科書導入について	
日程	12：00 碧南市役所を車で出発 13：00 現地付近で昼食後、車で移動 14：00～15：30 小学校で研修 15：30 若林東小学校から車で移動 16：30 碧南市役所に到着	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ ）	自家用車利用 <u>1</u> 台 所有者名（ 鈴木みのり ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

様式 1 4

## 会派視察研修報告書

令和 4年 1月31日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ  
代表者名 小池友妃子

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2名分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	鈴木みのり・小池友妃子
日 時	令和 4年 1月21日（金）
視 察 先	愛知県豊田市 若林東小学校
研 修 内 容	マルチメディアデイジー教科書
視察先面会者 又は講師名等	豊田市立若林東小学校 校長 三浦典子 パークとよた豊田市青少年相談センター 指導主事 佐伯裕司
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

## 会派視察研修報告書

令和4年1月21日

議員氏名 いせ友妃子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

### 記

- 1 期 間 令和4年1月21日（金）
- 2 視察先 愛知県豊田市 若林東小学校
- 3 視察の種類 会派（みらいクラブ）視察
- 4 視察の成果等

### マルチメディアデイジー教科書使用授業視察

#### 【マルチメディアデイジー教科書（デイジー教科書）とは】

通常の教科書と同様の文書、画像を使用し、文書に音声をシンクロ（同期）させた教科書データのこと。

- ①音声の読み上げ機能（速度調整可能）
- ②音声に合わせて文書に順番にハイライトを移動させる機能（文書量や色の変更可能）
- ③漢字へのルビ振り

#### 【デイジー教科書使用対象となる児童生徒】

通常の印刷された教科書では読むことが困難な児童生徒

⇒発達障がい（LD、ADHD、自閉スペクトラム症等）、眼球運動の障がい、上肢障がい、脳性まひ、知的障がい、視覚障がい（全盲、弱視）、構音障がいなどがある児童生徒

#### 【デイジー教科書導入までの経緯、豊田市教育委員会の取り組みについて】

令和元年度までは、各家庭が、（公財）日本障害者リハビリテーション協会（以下、協会）に申請・登録して、サーバーからダウンロードし、PCやタブレット、スマートフォンを利用し各家庭で使用していた。

令和2年度に、各家庭から学校へデイジー教科書導入の相談を受け、豊田市教育委員会で試行的に導入に取りかかる。まずは保護者から相談のあった学校に声をかけ、協会に豊田市教育委員会が一括申請をし、パスワードを発行し、試行開始した。

※令和2年度申請実績：9名（小学校9名、中学校0名）

今年度の導入スタートに関しては、令和3年3月、豊田市教育員会で協会へ一括申請。4月に全小中学校に周知し、5月より導入スタート。

※令和3年度申請実績: 83名(小78名、中5名)令和3年1月21日現在

児童生徒利用の学習用タブレットにはパスワードを入力すればデジ教科書が使えるアプリが入っているので、利用できる該当の児童生徒は申請すれば、パスワードは付与されるので利用することができる。

#### 【デジ教科書導入による予算】

予算：無料！

2009年から協会管理のもとでボランティア団体によるデジ教科書製作を行っており、現在では、全国の23の団体が製作に携わり、360冊の教科書を約1万人の児童生徒に提供している。

#### 【デジ教科書導入による成果】

豊田市教育委員会で一括申請したことで、以前のように各家庭が申請してパスワードが発行されるまでの時間より、格段に利用するまでの時間が早くなり利用者が大幅に増えた。

読み書きに困難さをもつ児童生徒への支援の一つとして周知することができた。

#### 【今後の課題及び展望について】

- ・デジ教科書を使った指導の仕方について調査・研究し、教員が学ぶ必要がある。
- ・若林東小学校のよい取組を、他の学校に広めていきたい。

#### 【視察を終えて】

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会は、平成20年度からボランティア団体等と協力して小中学校の発達障害など読みの困難がある児童生徒にデジ教科書を製作・提供を行っています。当初80名だった利用者は、平成23年度には1千名、平成30年度末では1万名を越え、令和2年度には、14,211名と急速に普及しつつあります。また、平成28年度からは、従来の点字教科書、拡大教科書に加えて、文部科学省による音声教材需要数調査も開始。更に普及に弾みが付くものと予測されています。

若林東小学校では、今年度より導入し、デジ教科書を利用する児童生徒は特別支援学級の10人と4年生の普通級クラスの女の子1人の計11名。現在は国語の授業で利用しています。授業を視察させていただきましたが、児童生徒一人ひとりが自分の課題を理解する上で活用している。また活用することで集中力の持続性も備わってきているとのことでした。

今年度より導入したばかりでしたが、今後国語だけでなく、様々な教科での導入に取り組んでいきたいとのことでした。

無料で活用できる、デイジー教科書。誰一人取り残さない社会をつくるためにも必要であると感じました。

碧南市でも是非導入できないか更なる調査研究を進め、前に進めたいと強く感じました。



## 視察研修成果報告書

令和 4 年 1 月 21 日

議員氏名 鈴木 けり

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

## 記

- 1 期 間 令和 4 年 1 月 21 日（金）
- 2 視察先 豊田市立若林東小学校
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等



今回の視察は、デイジー教科書について、先進導入地である豊田市立若林東小学校へお伺いいたしました。このコロナ禍での視察に対して、青少年相談センターから、仲田所長・佐伯指導主事、三浦校長・田口教頭・朱山教務主任と、太田市議会議長自ら（写真右）も参加して頂き、また先生方には保護者の方に、プライバシー保護の上、撮影の許可まで事前にとって頂き、感謝申し上げます。さて、まずはそもそも“デイジー教科書”とは何か？ですが、これは、通常の教科書と同様の文書、画像を使用し、文書に音声をシンクロ（同期）させた教科書の事を言うのです。私自身、今回の視察まで知らなかったもので、普通の教科書では読む事が困難な児童生徒（発達障害・眼球運動障害・上肢障害・脳性まひ・知的障害・視覚障害・構音障害など）のために作られたもので、対象者は全国で、児童生徒の2.4%いるとされているようです。太田市議会議長も関心が有ったようで、最後まで、ご一緒していただきました。肝心のデイジー教科書については、習うより慣れろ！で、ハイライト機能や、拡張機能、音声ガイドなど、1年生でも難なく使用していて1クラスに1年生から6年生まで7名が利用している所を、視察させて頂いたわけですが、非常にスムーズに活用されていました。ここで特筆される事は、導入費用が全く掛からないと言う点です。是非、当碧南市に於いてもいち早く導入して頂けるように、同志議員より一般質問などで提案して、実現したいものです。いずれにしても、今回の微妙な時期の視察でしたが、やはり視察の重要性・意義を改めて痛感したところで、早く通常の議会活動が出来る日を心待ちにしたいと思います。

